

13:00 ~ 14:00

訪問サービス 1

座長：中原和美(熊本保健科学大学)

- 024-01 終末期がん患者に対する在宅リハビリテーションでの関わり
藤野 慎平(株式会社 アール・ケア)
- 024-02 訪問リハビリテーションで周辺症状にアプローチし介護負担感を軽減できた症例
横井 菜美(社会医療法人 財団新和会 八千代病院)
- 024-03 当法人における訪問リハビリテーション終了者の考察と今後の課題
伊藤 将(医療法人社団らぼーる新潟 ゆきよしクリニック)
- 024-04 在宅生活における日常的な外出の阻害要因に関する考察
杉本 祐樹(医療法人財団 樹徳会 上ヶ原訪問看護センターすまいる)
- 024-05 当事業所における現状と課題 ～地域包括ケアシステムに根差した訪リハへ～
遊馬 悦子(財団医療法人 謙昌会 総合リハビリ美保野病院 杏の里訪問看護ステーション)

14:00 ~ 15:00

訪問サービス 2

座長：大串幹(兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院)

- 025-01 訪問リハビリテーション開始時期が要介護度変化に与える影響
井上 健太(医療法人 愛仁会 千船病院 リハビリテーション科)
- 025-02 介護支援専門員との連携強化に向けた取り組み～訪問リハビリテーション報告書を作成して～
伴野 里恵(新緑脳神経外科 訪問リハビリテーション課)
- 025-03 回復期病棟入院中と訪問時における理学療法の運動強度
長崎 正義(社会福祉法人 こうほうえん 錦海リハビリテーション病院)
- 025-04 日常生活に介助を要するピッカースタッフ型脳幹脳炎患者1例の発症から2年間の経過
～在宅復帰後の経過を中心に～
丸山 夕希(医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院)
- 025-05 訪問リハビリテーション利用者の抑うつ推移と家族の介護負担感について
斉藤 弘匡(社会医療法人社団カレスサッポロ よつば家庭医療クリニック 訪問リハビリテーション科)

当法人における 訪問リハビリテーション終了者の 考察と今後の課題

○伊藤 将(PT), 小林奈都子(PT), 清水美穂(OT), 池浦一樹(ST)
菅原浩美(PT), 熊倉範子(PT), 荻荘則幸(MD)

医療法人社団らぼーる新潟 ゆきよしクリニック・ゆきよし訪問看護ステーション

リハビリテーション・ケア合同研究大会 COI 開示

筆頭発表者名：伊藤 将

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

当法人の紹介

診療所

ゆきよしクリニック

平成12年開始

介護保険

医療保険

訪問看護ステーション

ゆきよし訪問看護ステーション

平成24年開設

介護保険

医療保険

目的

当法人における訪問リハ終了者の特徴を明らかにし、目標達成に向けた今後の課題を検討する。

方法

対象：平成28年1月～平成28年12月までに
当法人訪問リハを利用した全659名から、現在継続中の
利用者508名を除いた終了者151名

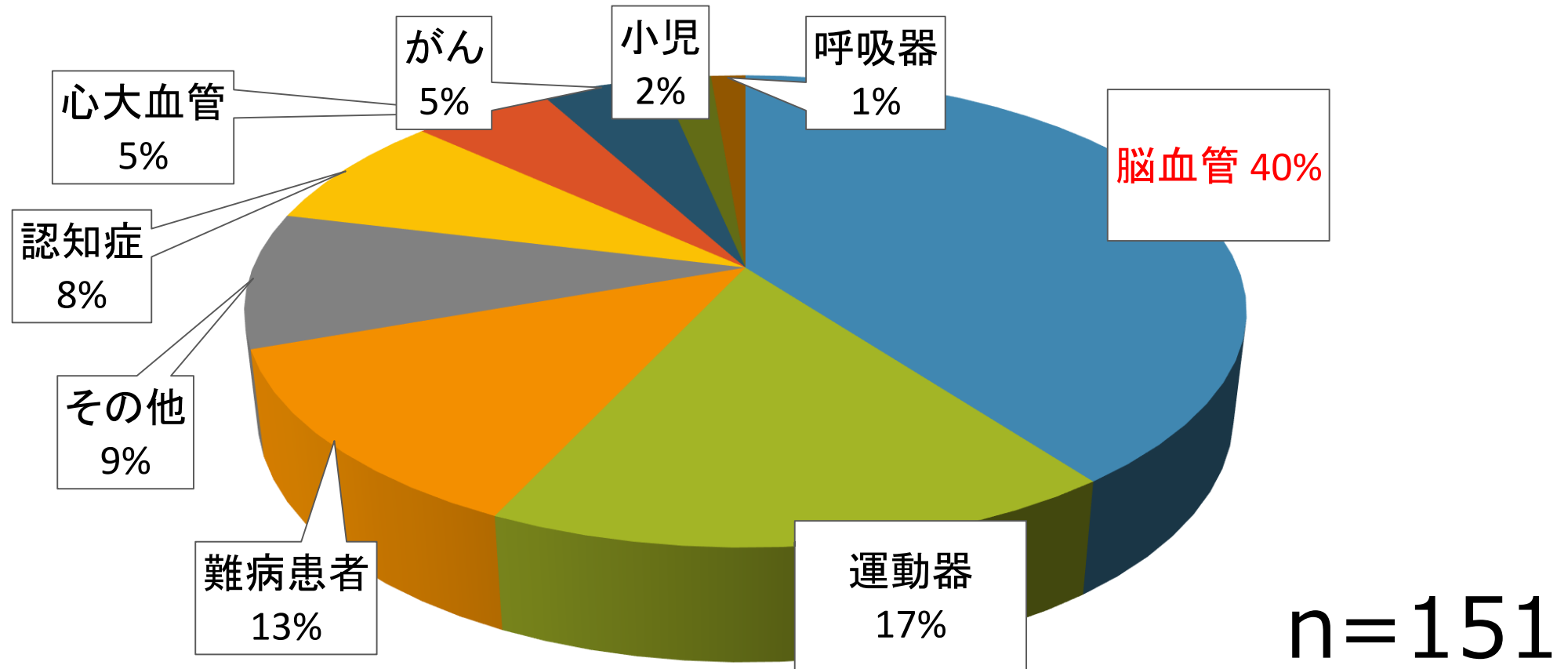


目標達成群 32名
男性12名 女性20名
平均年齢76.1歳

非達成群 119名
男性56名 女性63名
平均年齢77.9歳

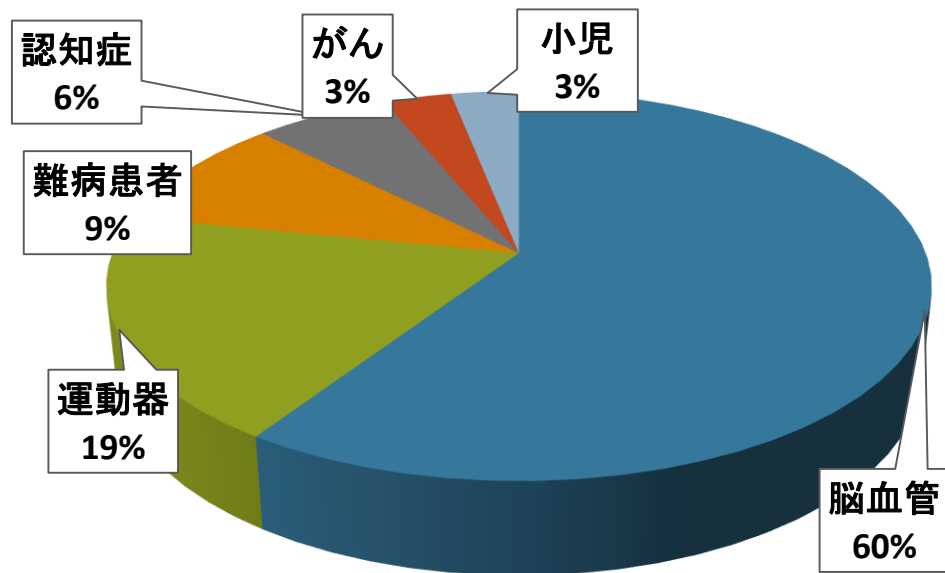
疾患,介護度,利用期間を後方視的に調査し,今後の課題を検討した

結果①：疾患別(終了者全体)

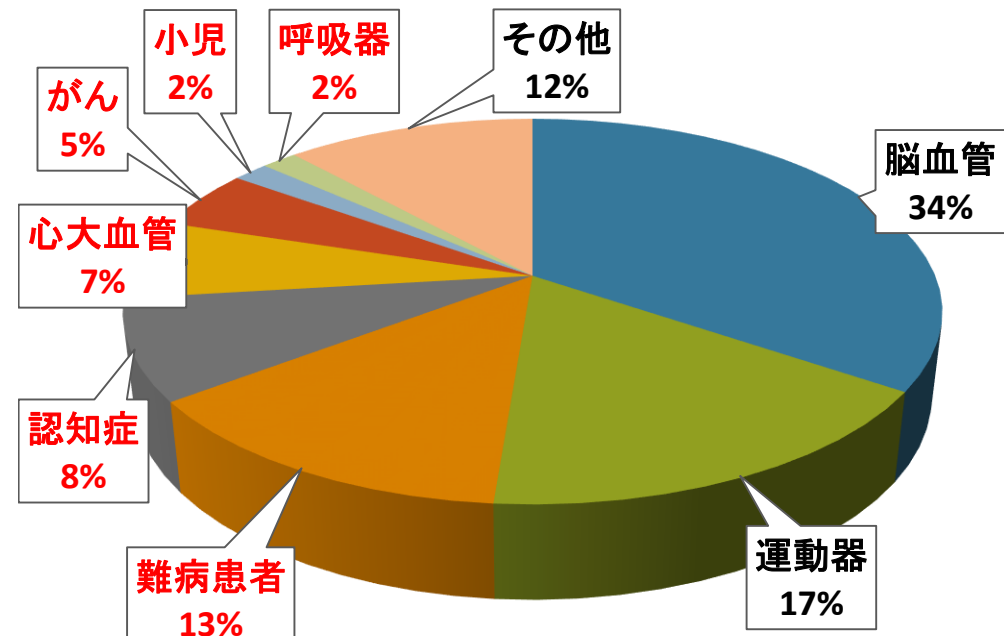


結果①：疾患別

目標達成群(N=32)

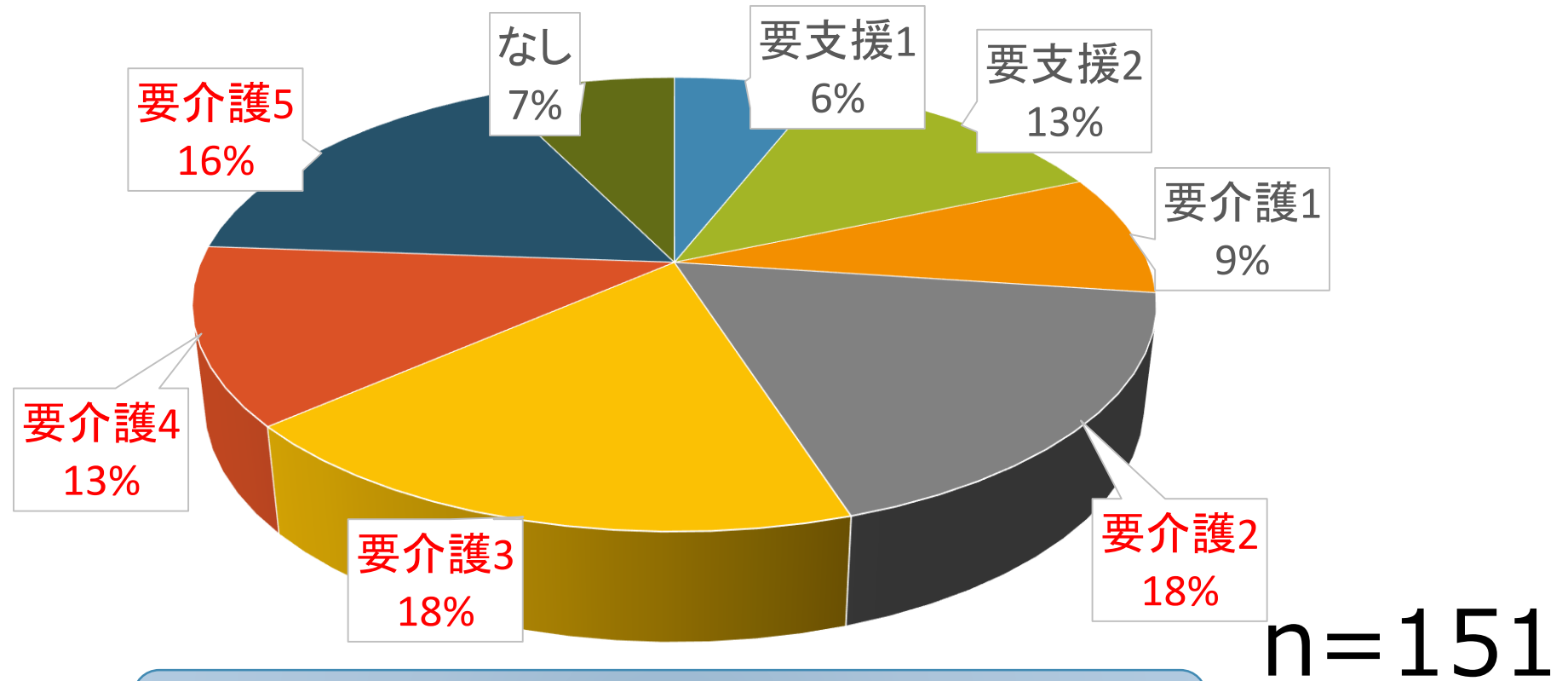


非達成群(N=119)



非達成群では難病や認知症，内部障害など疾患が多岐にわたっていた

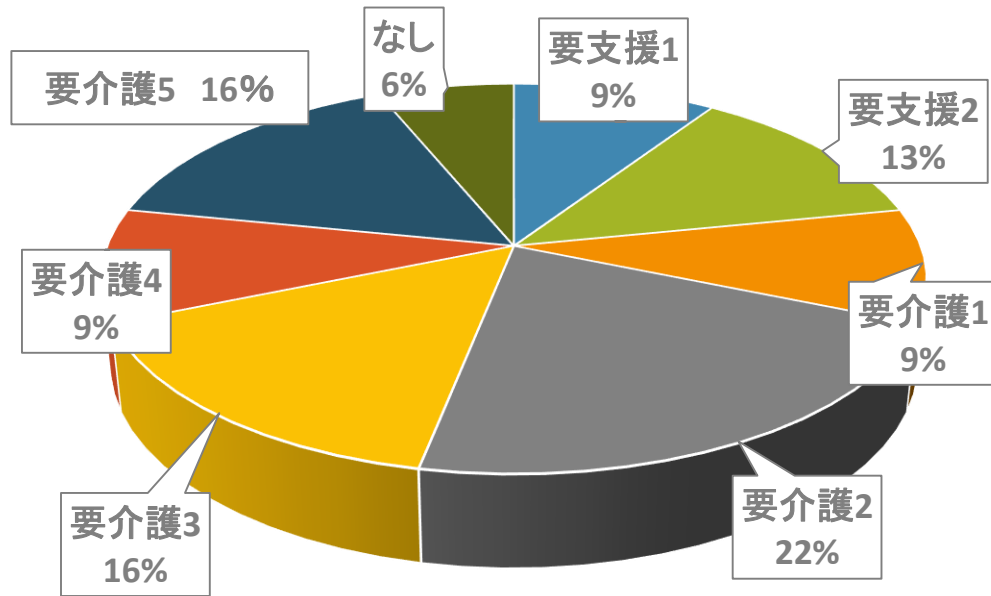
結果②：介護度(終了者全体)



中～重度者が6割以上を占めた。

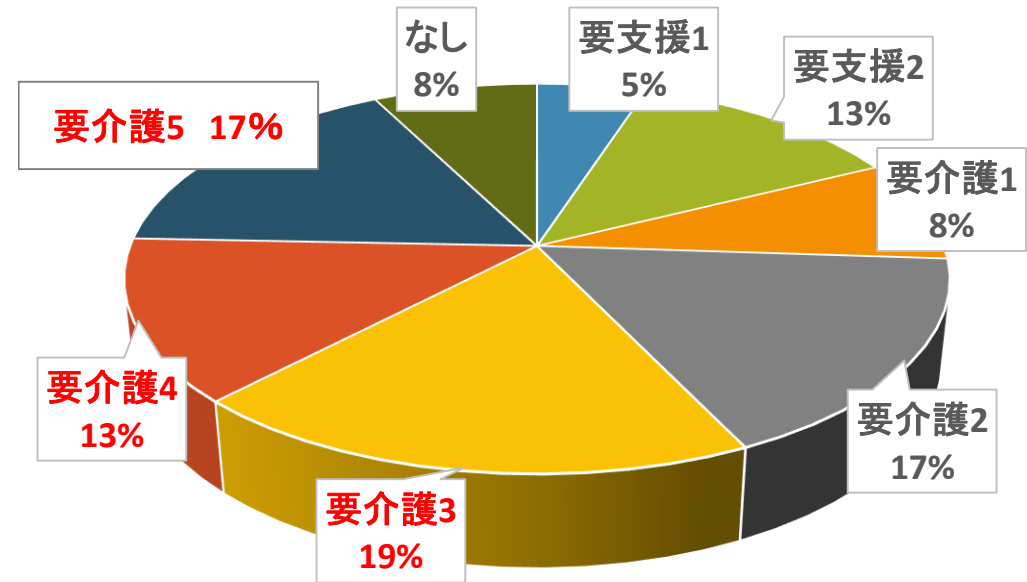
結果②：介護度

目標達成群(N=32)



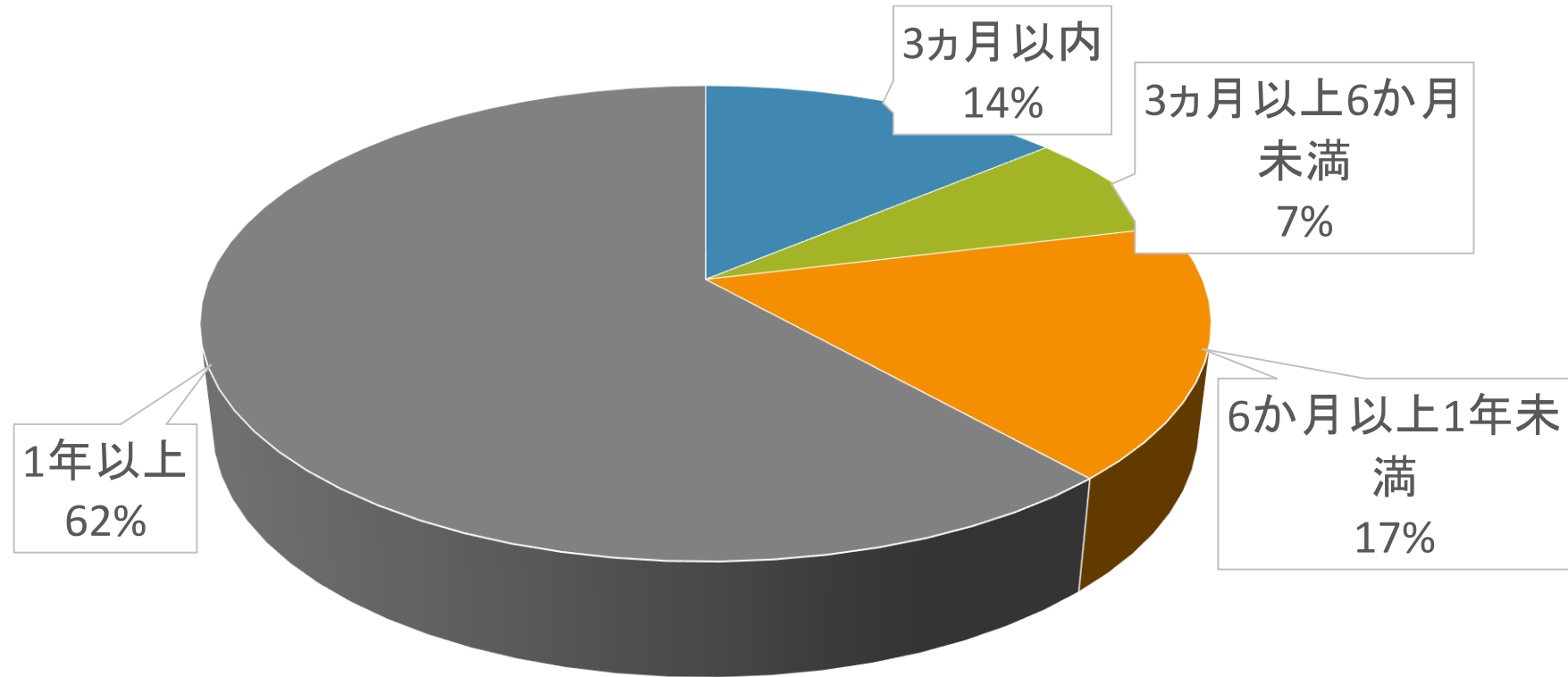
介護度に大きな差は見られなかった

非達成群(N=119)



要介護3~5が半数を占めた

結果③：利用期間(終了者全体)

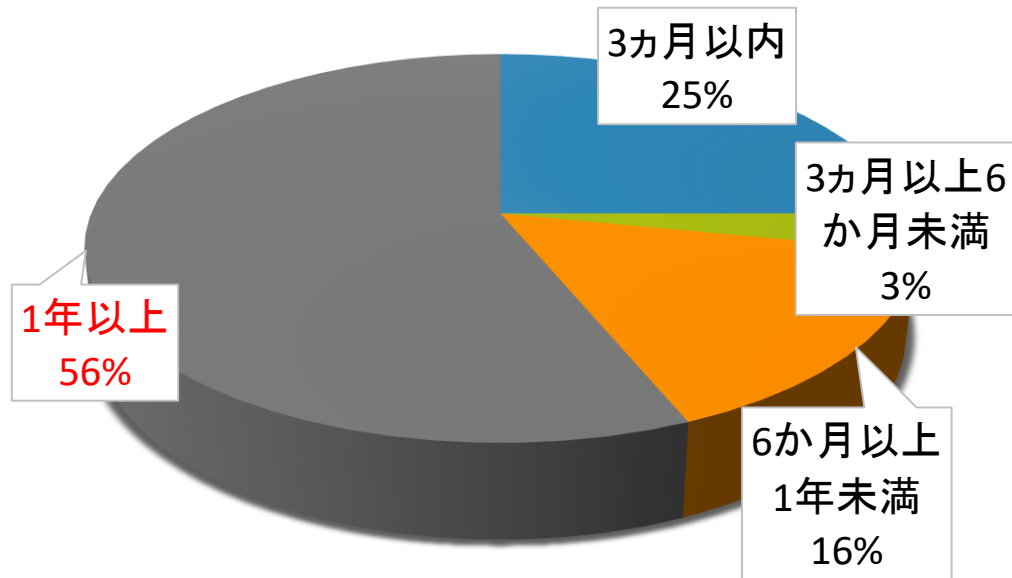


1年以上が6割を占めた。

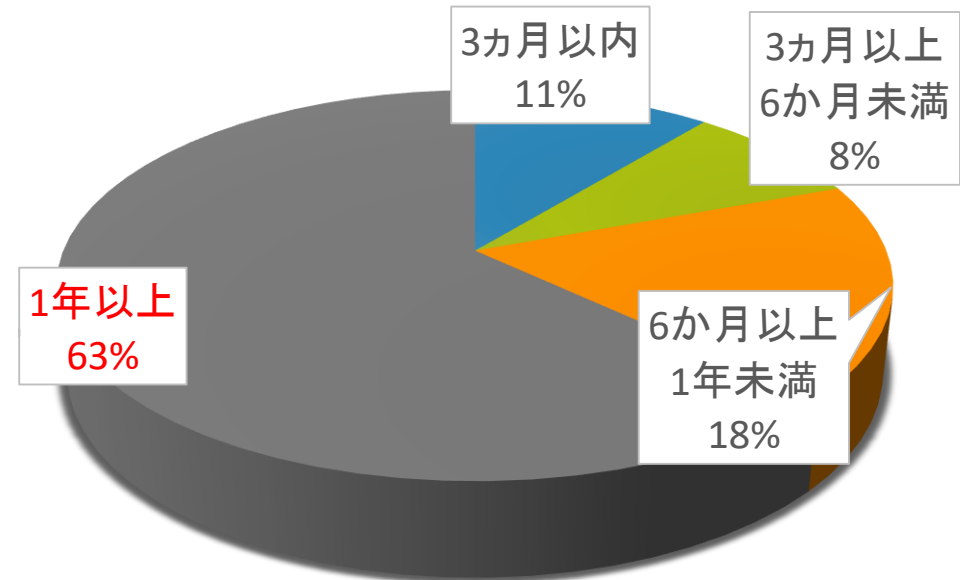
n=119

結果③：利用期間

目標達成群(N=32)

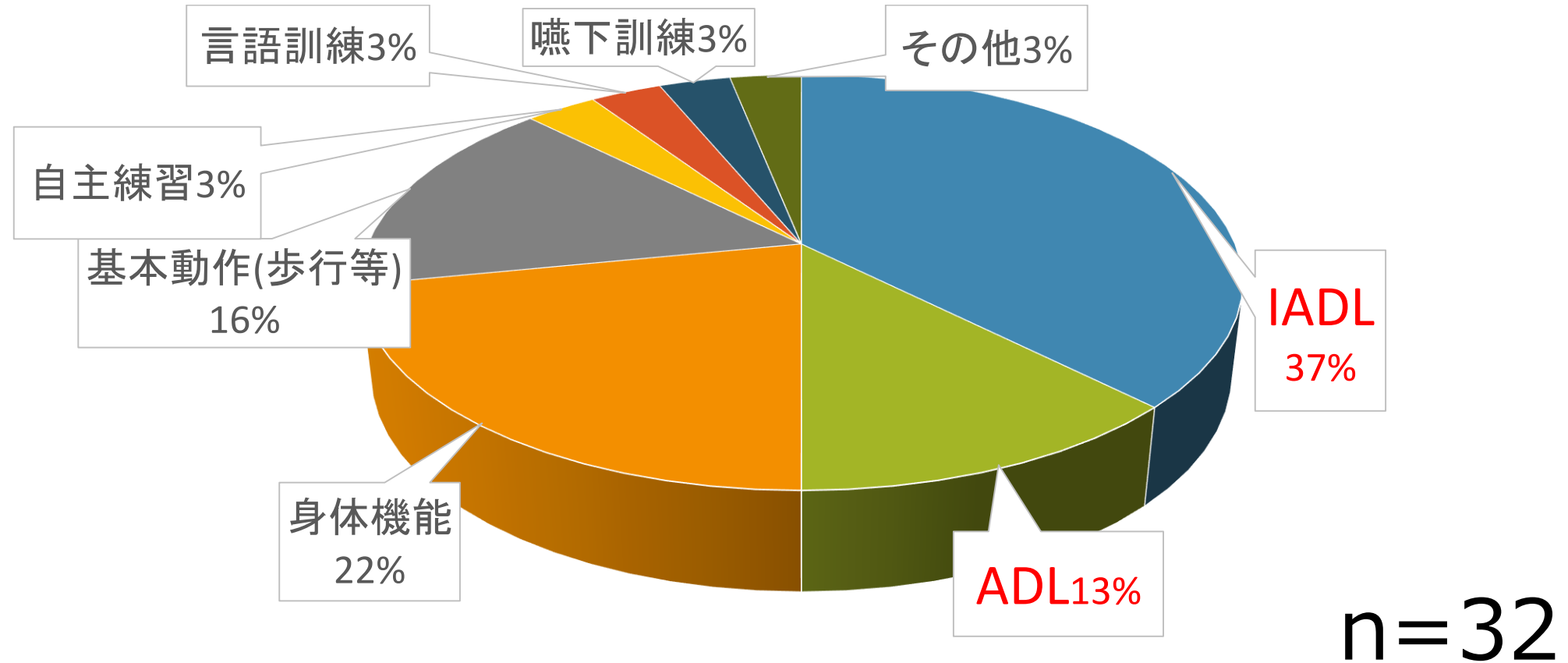


非達成群(N=119)



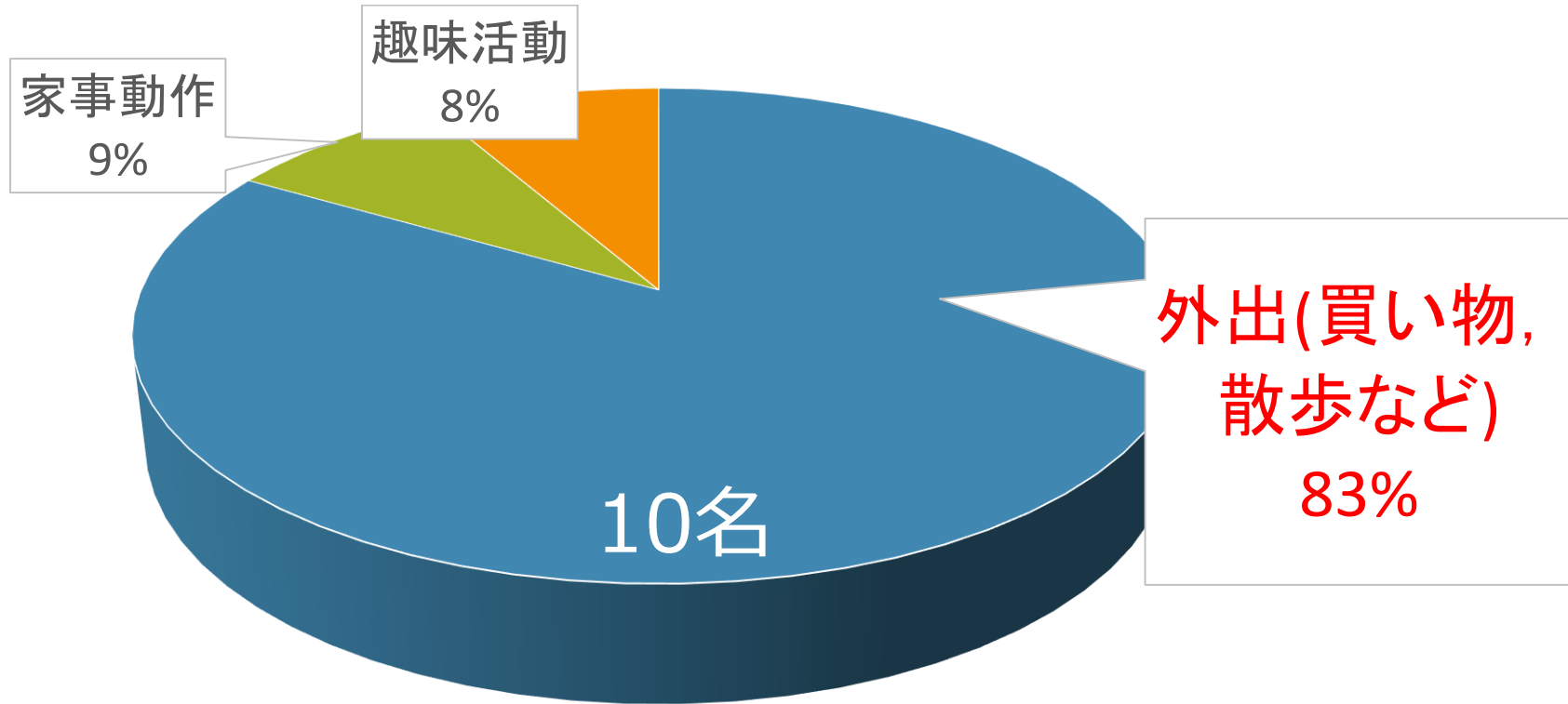
両群共に1年以上が6割を占めた。

結果④：達成目標分類



ADL, IADLへの関わりが全体の半数を占めた

結果⑤：IADL目標分類



n=12

外出(買い物, 散歩など)が最も多い

考察(目標非達成群)

疾患別割合において…

- ・ 難病や認知症, 内部障害など疾患が多岐にわたっていた

介護度別割合において…

- ・ 要介護3~5が半数を占めた

考察(目標非達成群)

目標達成には様々な疾患に対するリスク管理と要介護状態の改善,重度化の予防が必要であると考える

具体的には,

- ・ 疾患に対する自己管理のための患者教育
- ・ 廃用の予防（自主訓練指導，活動や参加に対するアプローチ，家族への説明，など）

等の取り組みが必要であると思われる。

考察(目標達成群)

目標達成群では、

- ・ **ADL, IADL**への関わりが半数を占めた
- ・ 介護度が多岐にわたっていた



介護度を問わず、**具体的な生活行為**の目標が達成しやすいのではないか。

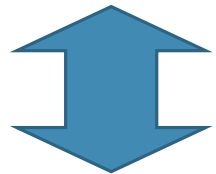
考察(目標達成群)

目標達成のためには

- ・ **具体的な生活行為目標**を設定
- ・ **訪問リハの役割**への理解

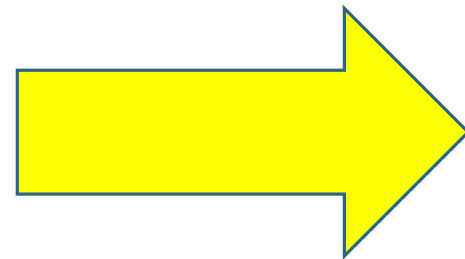
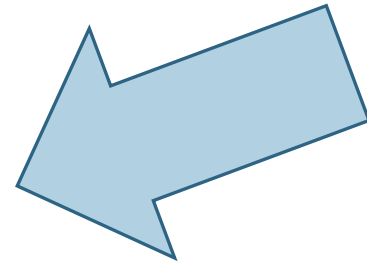
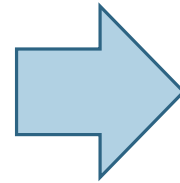
アプローチ

心身機能, 基本動作(歩行), ADL, IADL,
自主訓練, 介護指導, 環境調整...



定期的なアセスメント

達成状況, プログラムの再考...



目標達成

事例紹介(目標達成事例)



70歳代女性
要介護1 独居

近所のスーパーに自転車で
買い物に行きたい



自宅周囲での三輪自転車の練習を
目的に訪問リハを開始した

事例紹介(目標達成事例)

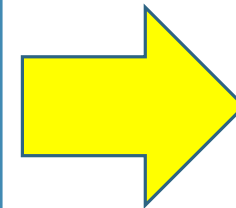
アプローチ内容

- ①三輪自転車での走行練習(自宅⇔スーパー)
- ②自転車の管理(自転車の出し入れ, 鍵の開閉など)



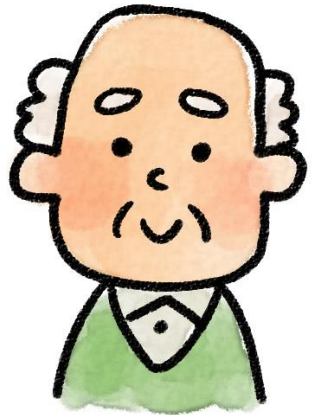
軽度の注意障害+, 道路の危険個所, 走行時の注意点を反復指導

- スーパーまでの外出が自立
- 「区役所まで行きたい」と希望あり, 目標を再設定 ⇒ 区役所までの外出も自立



目標達成!

事例紹介(目標非達成事例)



70歳代男性
要介護4

- ・ 転移性脊椎腫瘍にて腫瘍切除術施行。
⇒肝腫瘍もあり予後不良
- ・ 尿道カテーテル挿入中
- ・ 住宅改修(トイレ, 浴室), 環境調整を行い, 自宅退院となった。

訪問リハ(週2回)
目的: 安全な移動,
トイレ, 入浴動作獲得



訪問看護(週1回)
目的: 全身状態観察,
尿道カテーテル管理,
緊急時対応

事例紹介(目標非達成事例)

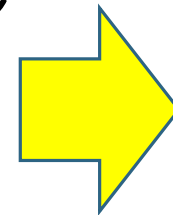
リハアプローチ内容

- ① 下肢体幹筋力強化練習
- ② 動作練習(ベッド間, トイレ, 浴室の車椅子移乗・移動)



しかし…

- ・放射線治療を実施するも, 疼痛コントロール不良. 吐気も改善せず, 食事量が低下…
 - ・筋力低下, 感覚鈍麻も進行…
- ⇒病状悪化以降は, 精神的な支援が中心



在宅生活困難
のため入院
⇒施設入所